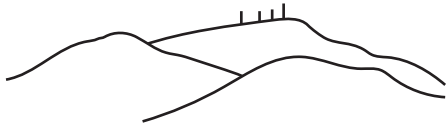


Youth Manna

2021/9/6 - 9/12



マルコ 1:35

さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2021/9/6(月)

Ⅱ 歴代誌 29:20-36

ヒゼキヤは即位後、主の宮の聖別をレビ人達に命じた(29:5)。彼らは王の命令の通りに主の宮を全てきよめ(18-19)、ヒゼキヤと町のつかさ達は主の宮に登った(20)。そこで全焼のいけにえと罪のためのいけにえとして計21頭のいけにえが献げられたが(21-24)改めて、私たちの罪が赦されるためにはこれほどの命の犠牲が必要であること、しかしこれでも解決はしなかったことを思われる。イエス様の十字架は、いけにえとは違ってただ一度で解決をもたらした事実を、思い起こそう(ヘブル 10:8-13)!

また、民は沢山の感謝のいけにえを携えてきたが、祭司達だけではさばききれない量だった。しかしそこで、レビ人達が彼らの仕事を手伝った(34)とある。家の教会の中で、また教会の中で、自分が手伝えることはあるかな? 考えて実行してみよう!

2021/9/7(火)

Ⅱ 歴代誌 30章

過越の祭りは第一の月に行うように定められているけど、祭司の数が足りなかったので、1ヶ月延期することにしました。そしてこの延期された1ヶ月を使って、ヒゼキヤはイスラエルとユダの全土に人を遣わして、一緒に神様を礼拝しようと呼びかけたんだ。

残念ながら、多くの人々は使者を笑いものにして嘲ったけど、一部の人々はへりくだってエルサレムに上ってきたよ。その人たちの多くは、神様の礼拝の定めを忘れてしまっていたけれど、ヒゼキヤのとりなしもあり、神様は許してくださったんだ。

ちゃんとすることは大事なことだけど、それ以上に神様を求める心が大事なことだね! みんなの心はどうだろう? 今自分の心が神様に真っ直ぐかどうか思い巡らそう!

2021/9/8(水)

Ⅱ 歴代誌 31章

ヒゼキヤ王は熱心に事に取り組み、ユダの民の間で、主の前に良いこと、正しいことを回復するために力を入れた。1節には主への礼拝を回復しようとする取り組みが広がったことが書かれている。これは民の自主的な行動であった。また、ヒゼキヤたちは、祭司やレビ人を整え直すことに力を入れた。旧約聖書では、信仰の回復に取り組むときには、祭司らの状態を向上させることが何度も取り上げられている。彼らは、人々を主の前に導く使命を持っていたからである。ささげ物によって彼らの生活を安定させることも重要視した。ヒゼキヤの呼びかけは民に浸透し、人々は各地からささげ物を携えてくるようになった。

この箇所には、ヒゼキヤや民が主に忠実である姿が記されている。主に忠実であるために、何をすべきだろうか?

2021/9/9(木)

Ⅱ 歴代誌 32:1-19

北王国はすでに滅亡し、南王国ユダは孤立無縁の状態であった。そしてヒゼキヤが王の時、アッシリア軍が攻めてきた。ヒゼキヤは敵に備えて城壁を強固にしたり、敵に水を与えないために泉を止めたりしたが、それ以上に民を力づけたのは、「彼らとともにいるのは人の力だが、エルサレムの民といるのは真の神様である」というヒゼキヤの言葉だった。(8v 要約)

良い時も悪い時も神様はともにいる。困難な時、私たちはそれだけで心がやられてしまうことがある。しかし、どんな時もともにいる神様にその時こそ期待し、信頼してみよう!!

神様を知っていても困難な時は人生にはたくさんある。神様は必ず神様の方法で助けてくださる。信じよう!!!

牛タンの日 2021/9/10(金)

Ⅱ 歴代誌 32:20-33

▶ 圧倒的な力を持っていたアッシリア軍から脅されたヒゼキヤ王と預言者イザヤは、主に助けを求めて祈った。すると主はその祈りに応え、彼らを守った。

▶ ここまでヒゼキヤ王は主の道を誠実に歩んできた。しかし人の高ぶりは、そんなヒゼキヤ王さえも狂わせてしまう(25)。どんなに信仰深い人だったとしても、神から離れてしまう危険があることを知る。

▶ どうやって高ぶりを避けよう?
詩篇 116:2 から思い巡らしてみよう

↓
わがたましいよ 主をほめたたえよ。
主が良くしてくださったことを何一つ忘れるな。

2021/9/11(土)

Ⅱ 歴代誌 33章

歴代の王様の中でも1番長く王様の期間が長かったマナセ王が出てくるね。1番長く王様だけど、彼の取り組みは神様の前に悪を行い、子どもをいけにえにしたり、神殿で偶像礼拝をしたりと罪に罪を重ねたものだった。

そこで神様はアッシリアにマナセ王を捕らえさせる。そうやって、彼はようやく主に赦しを求めて祈ることができたんだ。マナセのしてきたのはひどいことだったけれど、悔い改めるマナセを神様は赦してくださったね。私たちが心から悔い改める時、神様はそれを受け入れて赦してください方なんだ。

ただ、周りへの影響は大きく彼の息子は悪の道へと戻ってしまった。『悔い改めれば赦される、だから何をしてもいい』わけでは決してないことも覚えておこう!
今自分が悔い改めるべきことってなんだろう? 止めるべきことは? 神様はそれをどう見てるかな?

2021/9/12(日)

Ⅱ 歴代誌 34:1-21

ヨシヤ王は、生涯を通して神様の前に忠実な歩み続けました。ヨシヤは19節で書を通して告げられた神様のみこころに呆然とし、衣を引き裂きましたが、それは平常心ではいられない重大事に直面した時の行動でした。それまでのヨシヤは、自分の内に宿る神様への熱心さに基づいて歩み、良きものを追い求めることに喜びを覚えていました。でもヨシヤはここで自分たちが滅亡の危機に瀕していることを悟りました。この重要な転換期をもたらしたのが神様のことばであることを歴代誌は告げています。

熱心さも、誠実な探求も有意義ですが、人が神様の前を歩んでいくためには、神様ご自身の語られることに耳を傾けることが欠かせません。私たちはどの程度、神様のことばを大切にしているでしょうか? 日々聖書を開き、神様のことばを聞き、それを大切に覚えましょう!